

コイズミ学習デスク 組立説明書（保証書付き）

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この組立説明書をよくお読みのうえ正しく組立てしてください。
- 事故防止、安全のため、組立説明書に記載の注意マークをお守りいただき組立てしてください。
- 使用上や安全上のご注意は、別冊の取扱説明書をよくお読みください。
- 組立てしたあとも組替えや修理の際にお役立ていただくために、大切に保存してください。
- 文中のイラストは共通の為、現物と異なる場合がありますが、ご容赦ください。

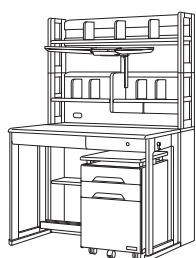
取扱説明書のマークについて

- この説明書には下記のマークを付けています。
 - ⚠ 気をつけていただきたい注意内容
 - ⊘ 行ってはいけない禁止内容
 - ❗ 必ず行っていただきたい指示内容
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- この説明書は、大切に保管してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

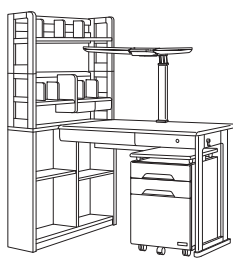
❗ 組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3、STEP4、STEP5と、用途に応じて5種類のスタイルに組み立てることができます。どのスタイルにするか決めてから「1 デスク→2 シェルフ→3 デスクとシェルフの組み付け」の順に組立て方法のSTEPをご覧になりながら組み立ててください。

※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。



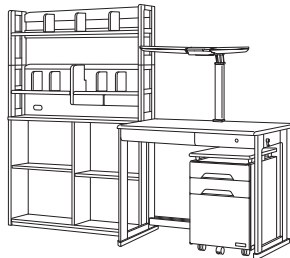
●STEP1
(スタンダードスタイル)



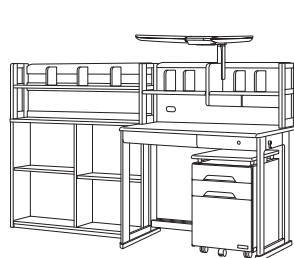
●STEP2
(ユニットスタイル)
※左右の組替えが可能です。



●STEP3
(L型スタイル)
※左右の組替えが可能です。



●STEP4
(ゼブラスタイル)



●STEP5
(ロースタイル)

- 展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
- 力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

目次	1 デスクの組立て方法……P2～P4	4 可動棚の取付け方法………P9	7 コンセントの取付け方法………P10
	2 シェルフの組立て方法…P4～P5	5 可動仕切板の取付け方法………P9	8 ライトとコンセントの結線………P11
	3 デスクとシェルフの組付け方法…P6～P8	6 照明器具の取付け方法………P10	9 カバンフックの取付け方………P11
			10 ワゴンの組立て方法………P11

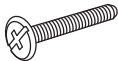
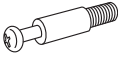
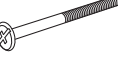
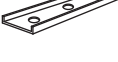
品番 WDS-281WW WDS-282NS
WDS-283BS WDS-284WT



必ず2人以上で
作業を行って
ください。

1 デスクの組立て方法

■デスク付属品

A ボルト(M6×35mm)	B 連結ピン	C 回転金具(大)	E 穴埋めキャップ	F ナット用キャップ	G ボルト用キャップ	S カバンフック	T トラスボルト(M6×25mm)
GKU4BJ635 GKU4BU635  ×13	SZC8MB605  ×2	SZC8MKN18  シルバー ×4	SZCTAC18W SZC9AC18V SZC9AC18R  ×2	SZCTDC10W SZC9DC07V SZC7DC06R  ×3	SZCTBC61W SZC7BC60V SZC9BC61R  ×2	SZCTKF10W SZC9KF07V SZC9KF07R  ×1	GKU4BW625  ×1
U ボルト(M6×90mm)	V ボルト(M6×16mm)	W 拡張天板受金具	X ガッチリ金具(A)	Y ガッチリ金具(B)	カギ		
GKU4BU690  ×2	GKU4BA616  ×6	SZC3LK17K  ×2	SZC1GK230  (M6-30) ×2 1 セット	SZC1GK231  ×1	LTFTKD503  1 セット		

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類とカバンフックは、上段がWW色、中段がNS色、下段がBS,WT色の部品品番となります。

A ボルト(M6×35mm)は、上段がWW色、下段がNS,BS,WT色の部品品番となります。

⚠️ 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。

➡️ お子様が飲み込むことがあります。

⚠️ スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。

組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。

➡️ 部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

STEP1・STEP4・STEP5の場合

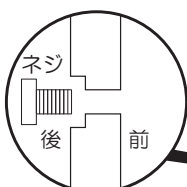
1 側板の取り付け

G ボルト用キャップ

⚠️ 床にキズがつかないように
毛布等を敷いてください。

A ボルト(M6×35mm)

2 背板の取り付け



❗ 上背板は、ネジ頭の座彫りがある面
を外側にして組み立ててください。

⚠️ 床にキズがつかないように
毛布等を敷いてください。

上背板

A ボルト(M6×35mm)

A ボルト(M6×35mm)

3 拡張天板の取り付け・収納

△ STEP1の場合は拡張天板を付けずにご使用ください。
その他のスタイルでは拡張天板を付けても、収納してもご使用いただけます。

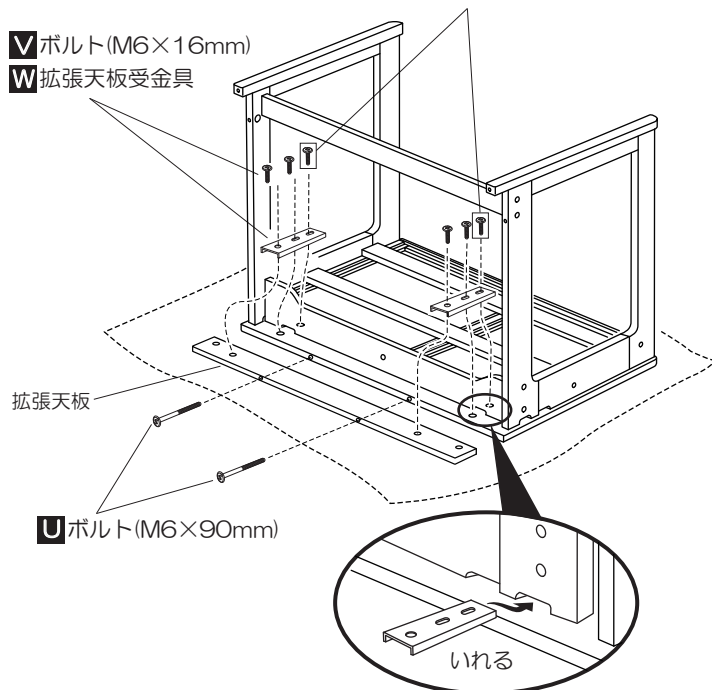
■ 取り付け

△ このボルトは背板の内側から止めてください。

■ 収納

✓ ボルト (M6×16mm)

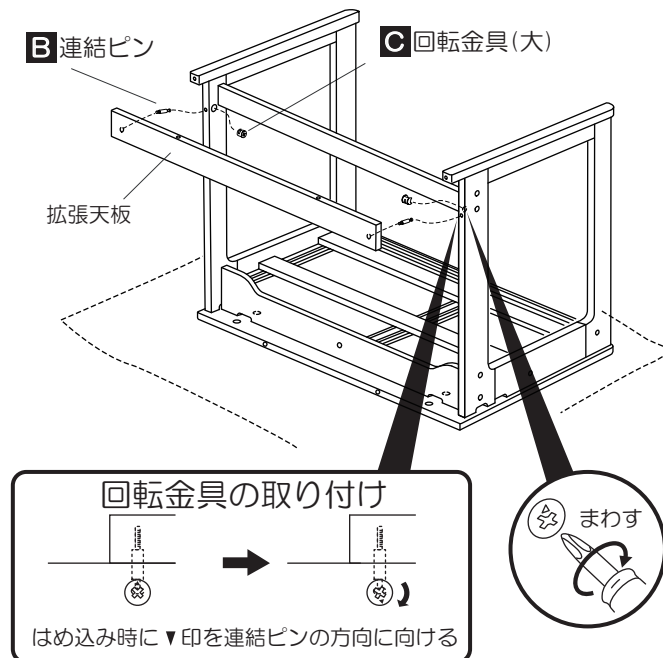
W 拡張天板受金具



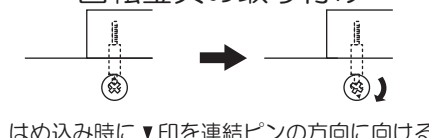
B 連結ピン

C 回転金具 (大)

拡張天板



回転金具の取り付け



はめ込み時に ▼ 印を連結ピンの方向に向ける



STEP2・STEP3の場合

※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(P1 のSTEP2・STEP3 の図)

右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

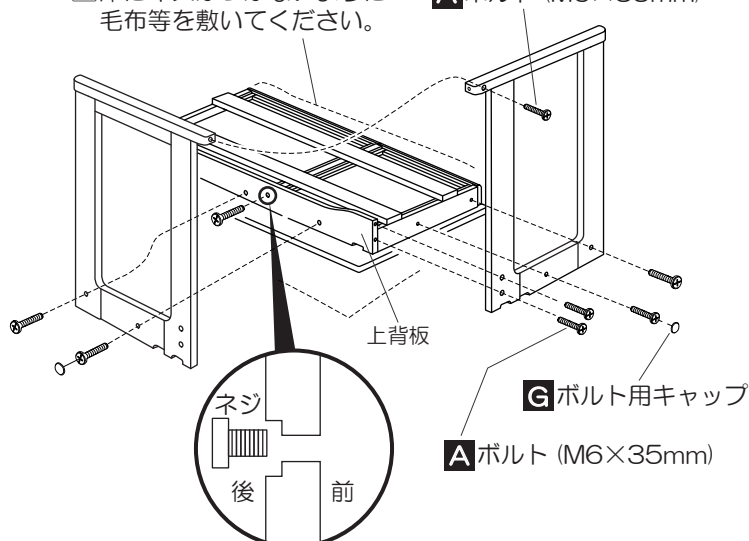
※ここでは拡張天板を取り付けない場合の説明となっております。

拡張天板の取り付け方法はP4 の取り付け方法を参考に付けてください。

1 側板の取り付け ・ 上背板の取り付け

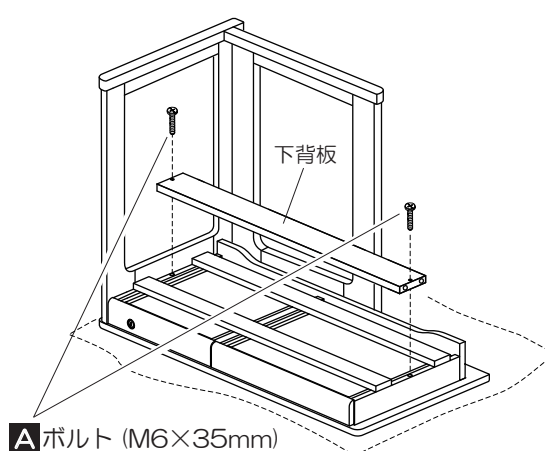
△ 床にキズつかないように
毛布等を敷いてください。

A ボルト (M6×35mm)



❗ 上背板は、ネジ頭の座彫りがある面
を外側にして組み立ててください。

2 下背板の取り付け



③ 拡張天板の取り付け・収納

■取り付け

V ボルト(M6×16mm)

W 拡張天板受金具

拡張天板

U ボルト(M6×90mm)

△ このボルトは背板の内側から止めてください。

入れる

■収納

B 連結ピン

C 回転金具(大)

回転金具の取り付け

はめ込み時に ▼ 印を連結ピンの方向に向ける

まわす

2 シェルフの組立て方法

※シェルフから組立てすると少ないスペースで組立てできます。

■シェルフ付属品

A ボルト(M6×35mm)	B 連結ピン	C 回転金具(大)	D 回転金具(小)	E 穴埋めキャップ	F ナット用キャップ	G ボルト用キャップ	H 樹脂棚ダボ
SKU4BJ635 SKU4BU635 ×5	SZC8MB605 ×16	SZC8MKN18 ×8 シルバー	GKUTMKK15 ×8 ブラック	SZCTAC18W SZC9AC18V SZC9AC18R ×3	SZCTDC10W SZC9DC07V SZC7DC06R ×7	SZCTBC61W SZC7BC60V SZC9BC61R ×2	SZC3TD14R ×8
I ユニット時棚固定金具	J ボルト(M6×12mm)	K ユニット連結金具	L ボルト(M6×16mm)	M コンセントボックス	N ボルト(M6×35mm)	P 転倒防止金具	
SZC3LK16T ×1	GKU1B212Z ×2	SZC3LK14U ×2	GKU4BA616 ×6	KRE9SW10L ×1	SKU4BU635 ×1	SZC8TN002 1セット	

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類は、上段がWW色、中段がNS色、下段がBS,WT色の部品品番となります。

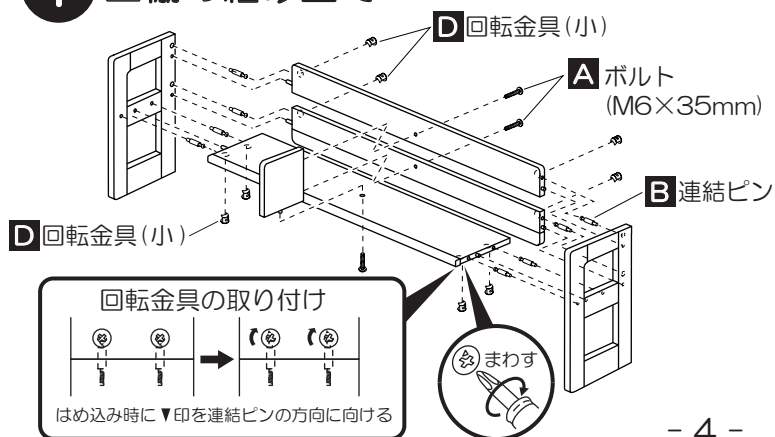
A ボルト(M6×35mm)は、上段がWW色、中段がNS,BS,WT色の部品品番となります。

※部品はハイシェルフとハイシェルフ棚板の2つの梱包に分かれて入っています。

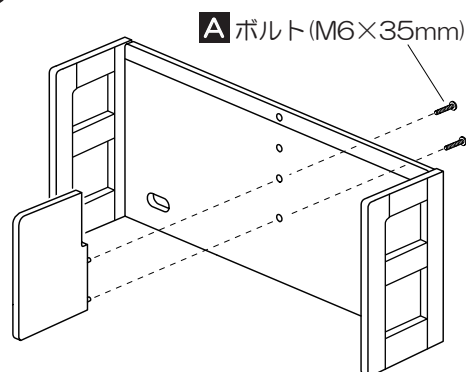
- △ 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
→ お子様が飲み込むことがあります。
- △ スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
→ 部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

全STEP共通

1 上棚の組み立て



2 中棚中央仕切板の取り付け

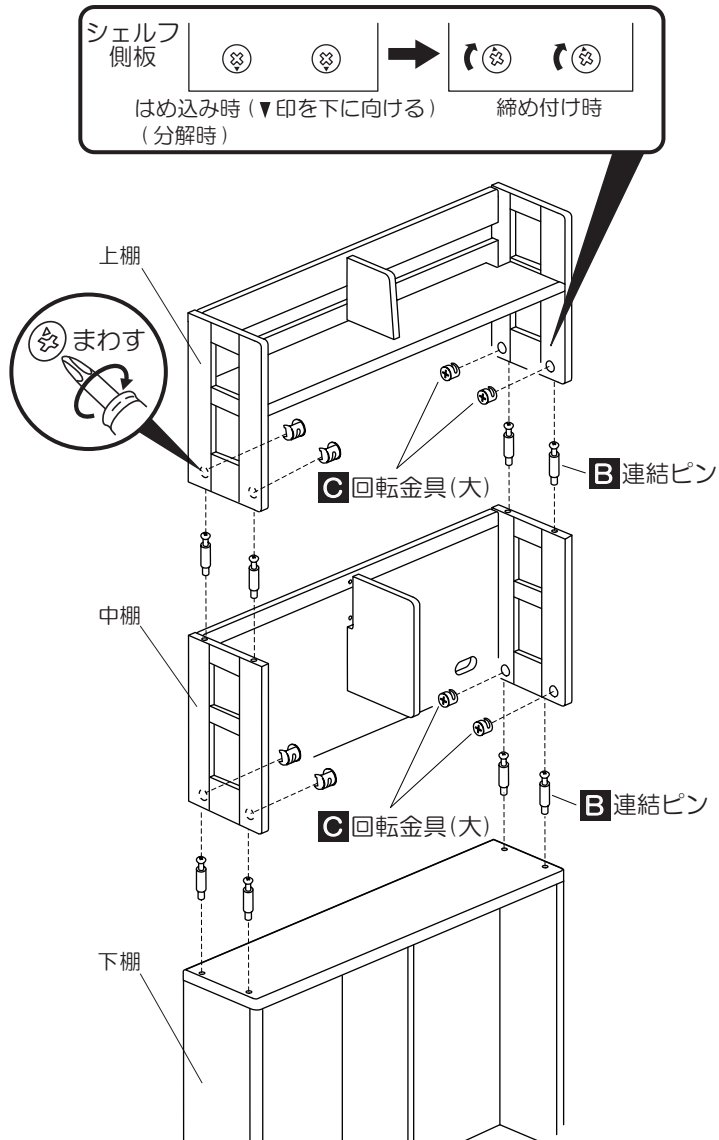


△STEP1は、P6の「デスクとシェルフの組付け方法」へ進んでください。

STEP2・STEP3は、P7・P8の「デスクとシェルフの組付け方法」へ進んでください。

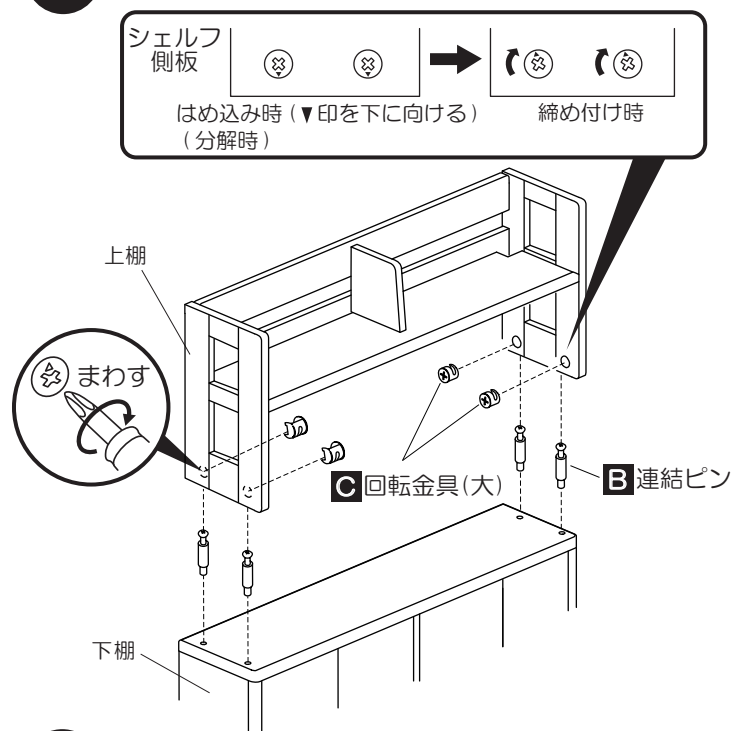
STEP4の場合

■上棚と中棚と下棚の取り付け

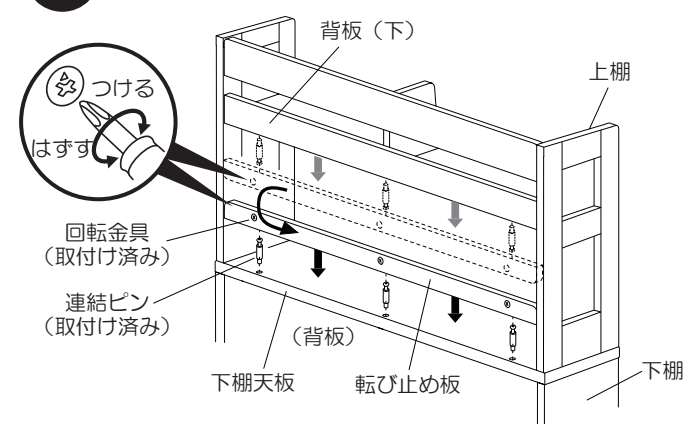


STEP5の場合

1 上棚と下棚の取り付け



2 転び止め板の取り付け

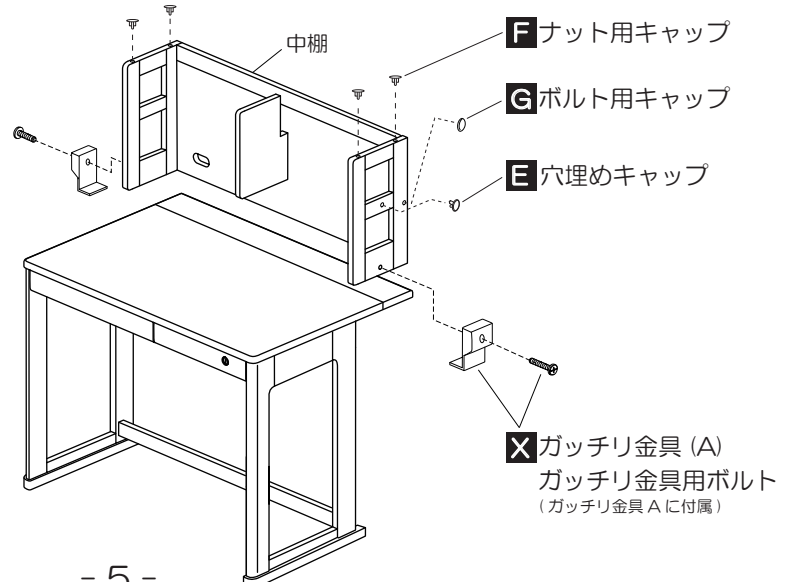


STEP5の場合

■中棚とデスクの組み立て

■ガッチリ金具 (A) の取り付け

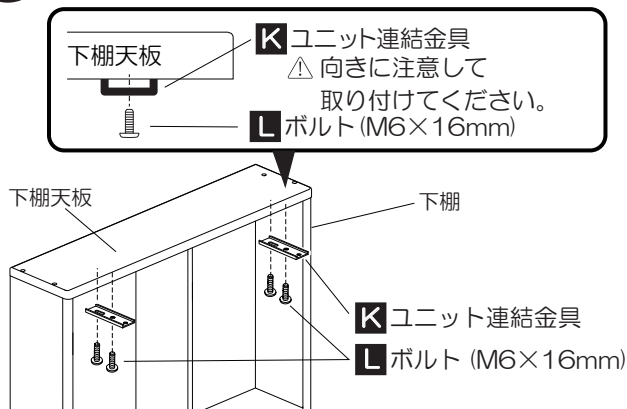
※デスクの拡張天板を取り付けても、取外してもどちらの状態でも、中棚をのせ、組み立てることができます。



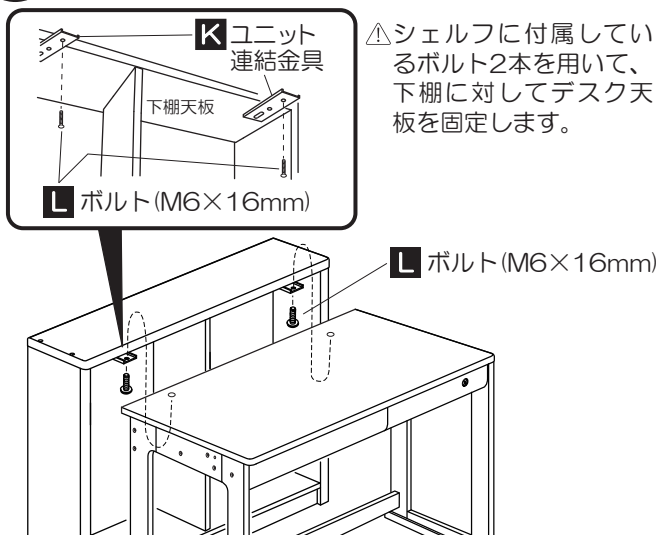
3 デスクとシェルフの組付け方法

STEP 1 の場合

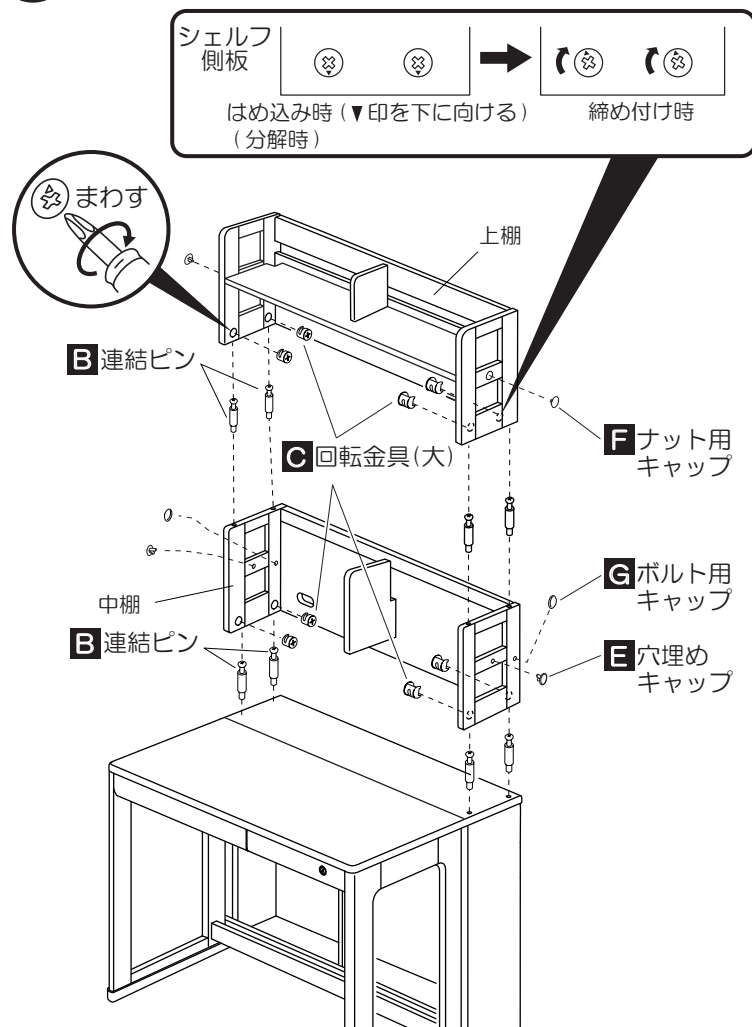
1 ユニット連結金具の取り付け



2 下棚とデスクの組み付け



3 上棚と中棚と下棚の組み立て

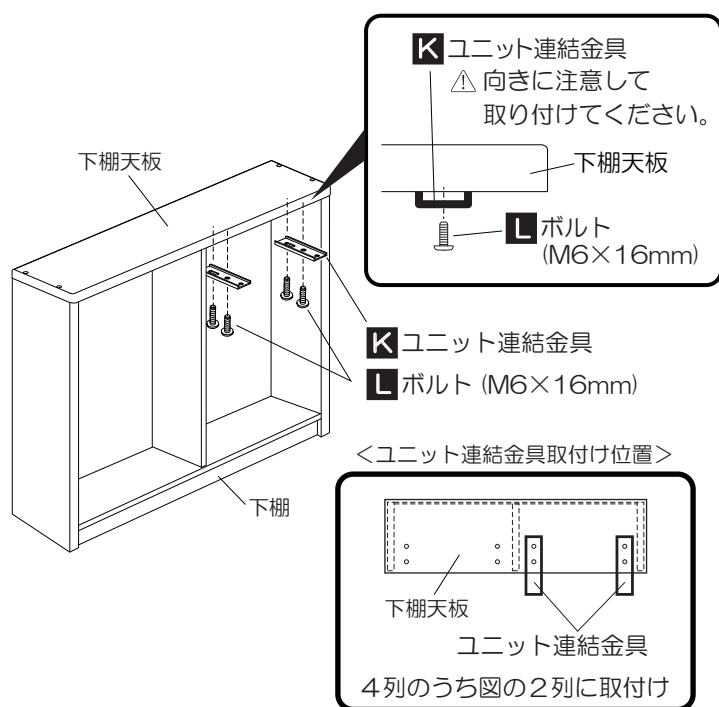


STEP2・STEP3の場合

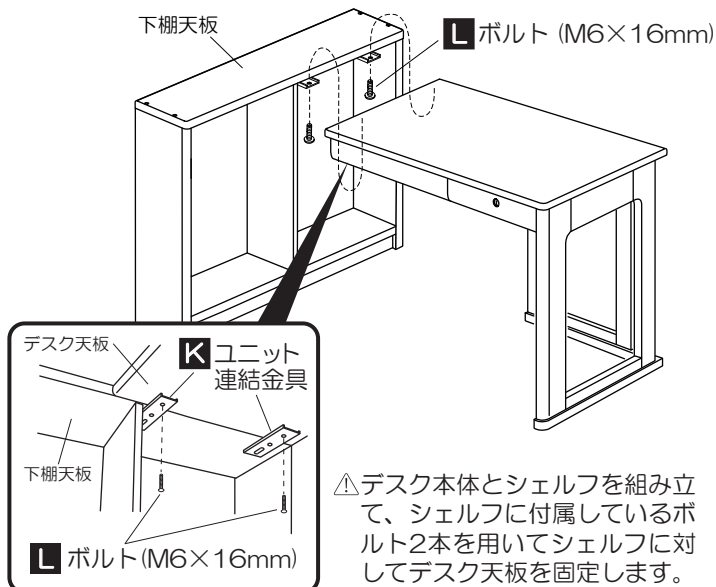
※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(この真下の図)
右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

■拡張天板を取り付けていない場合

① ユニット連結金具の取り付け

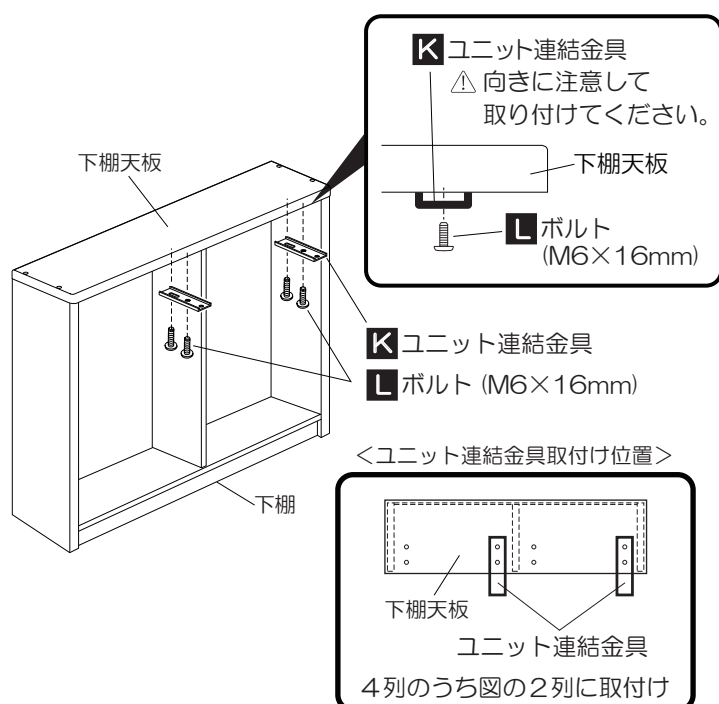


② 下棚とデスクの組み付け

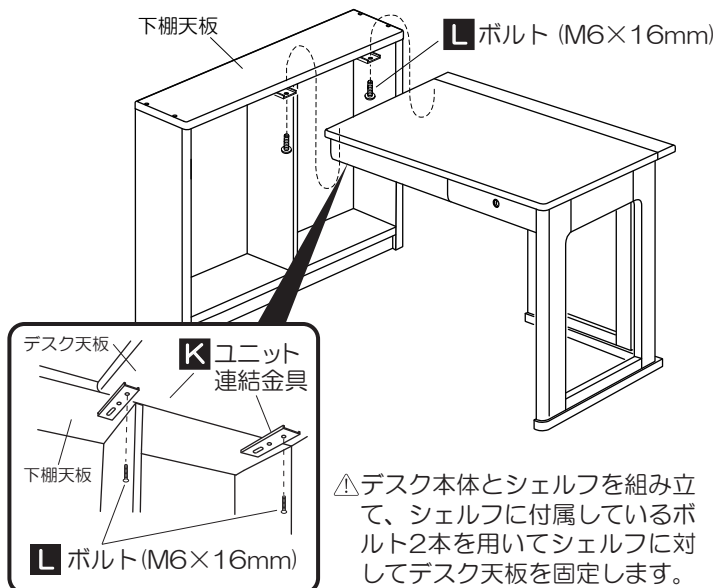


■拡張天板を取り付けている場合

① ユニット連結金具の取り付け

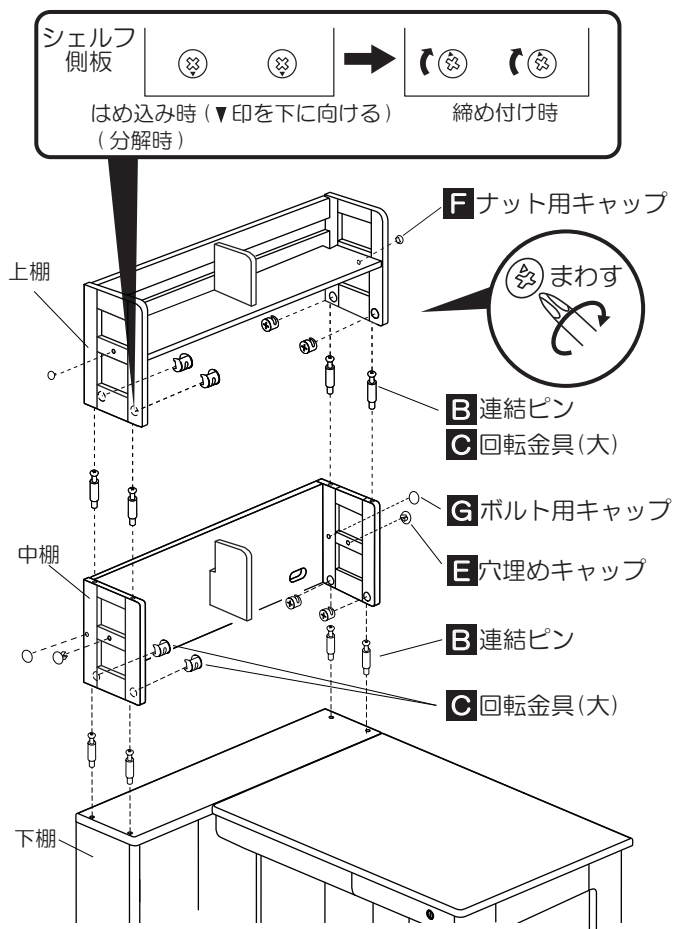


② 下棚とデスクの組み付け



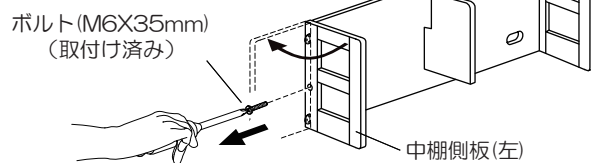
STEP2の場合

③ 上棚と中棚と下棚の取り付け



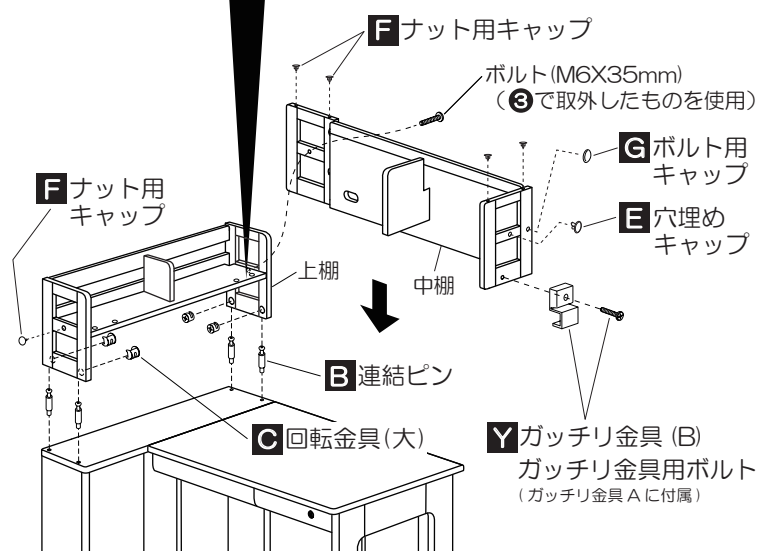
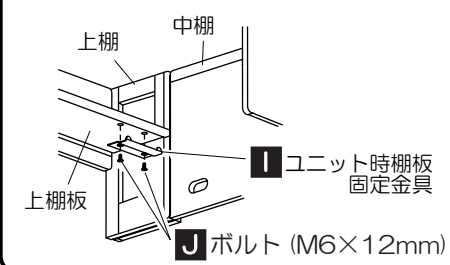
STEP3の場合

③ 中棚側板 (左) の開け方

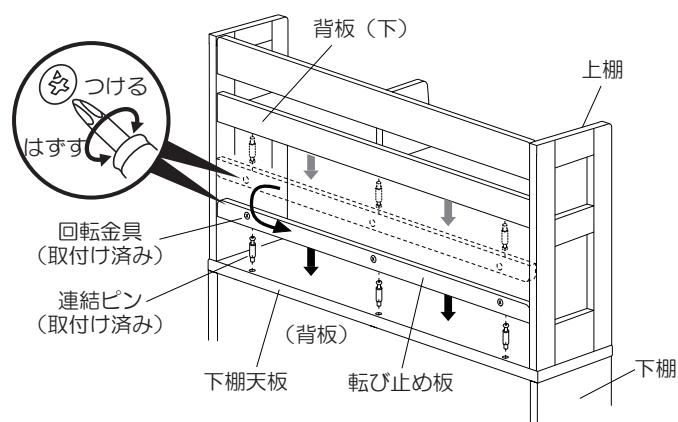


④ 中棚の取り付け

ユニット時棚板固定金具の取り付け



⑤ 転び止め板の取り付け



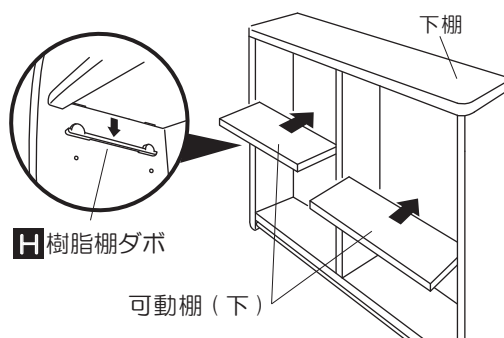
4 可動棚の取付け方法

全STEP共通

■下棚への可動棚の取り付け

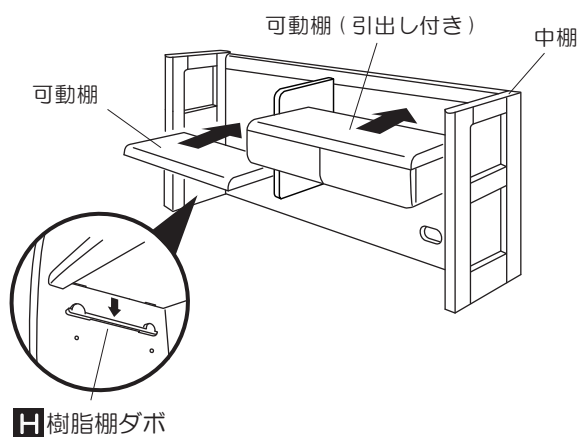
○可動棚の耐荷重は 15 kg です。
→ 15 kg 以上のものを乗せると破損やケガの原因になります。

⚠組立て中の中棚への可動棚の取り付けは危険ですので、シェルフの組み立てが終わってから行ってください。
→ ケガ・破損の原因になります。



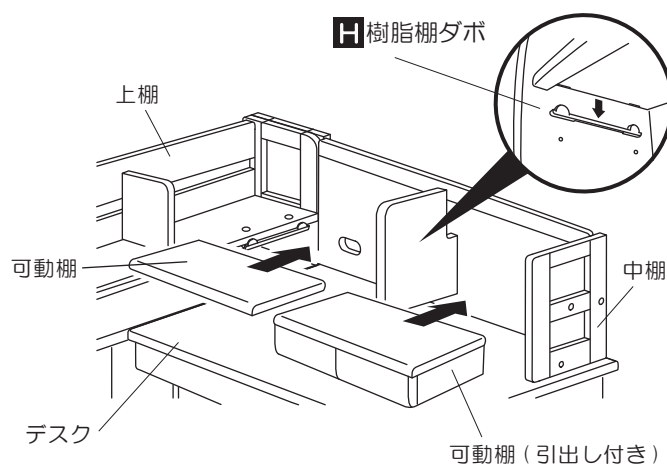
STEP1、STEP2、STEP4、STEP5の場合

■中棚への可動棚の取り付け



STEP3の場合

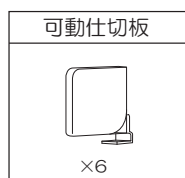
■中棚への可動棚の取り付け



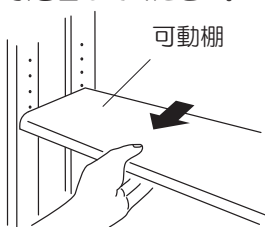
5 可動仕切板の取付け方法

■可動棚への取付け方法

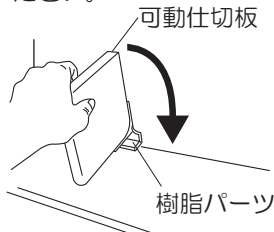
⚠可動仕切板を取り付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。



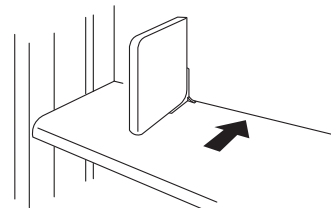
① 可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。



② 可動棚の後に可動仕切板の樹脂パーツをはめ込んでください。

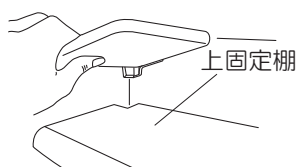


③ 樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。

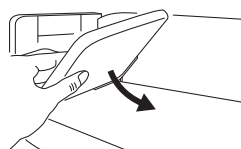


■上固定棚への取付け方法

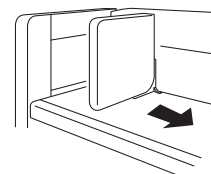
① 上固定棚の後角の欠き取り部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。



② 差し込んだ状態で可動仕切板を垂直におこして上固定棚にはめ込んでください。

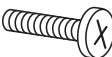


③ 横にスライドさせて使用してください。

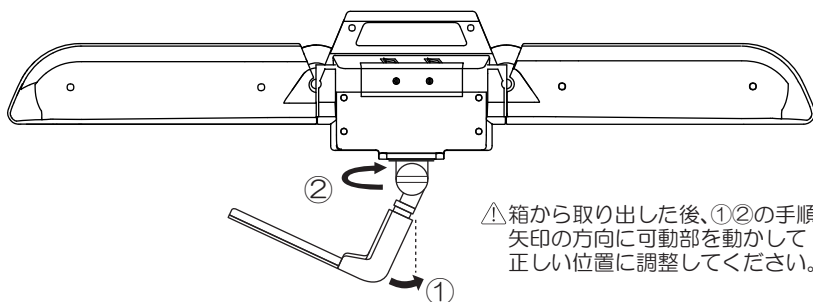


6 照明器具の取付け方法

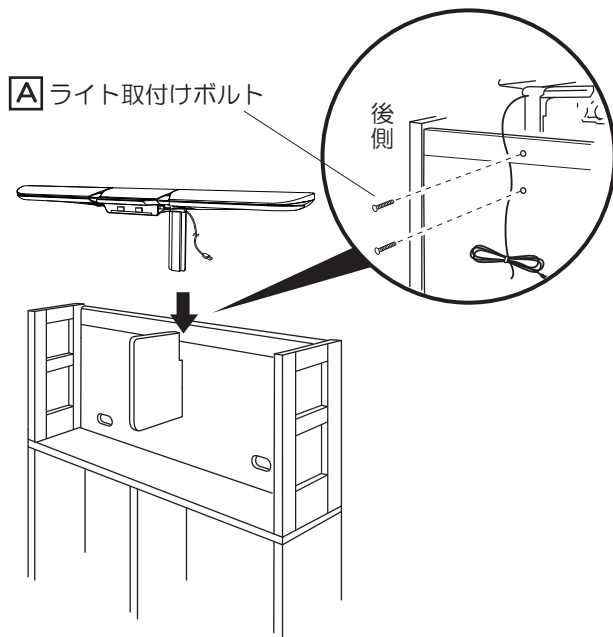
■ライト付属品

A	ライト取付けボルト	B	クランプ取付けボルト	C	クランプ
	M6×30mm(長)		M6×15mm(短)		
					
	×2		×2		×1

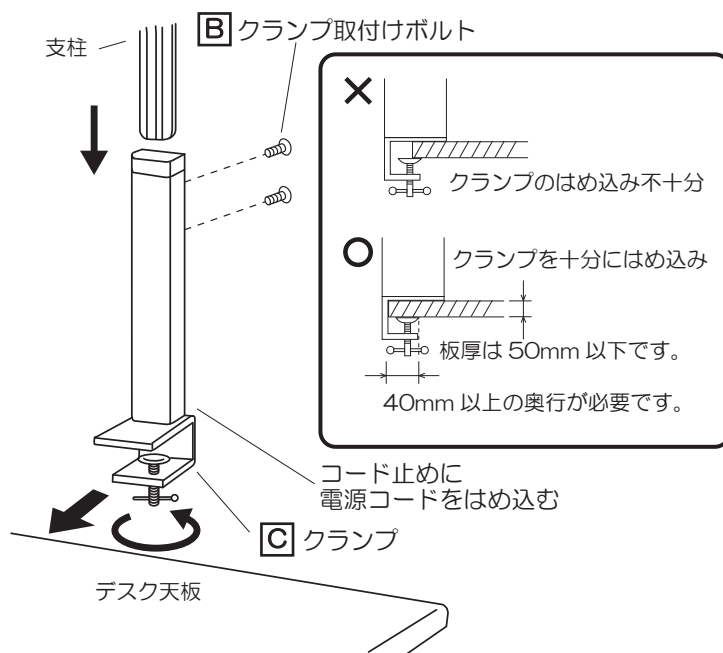
△Aのボルトは最初から取り付けてあり、
 ㊦Bのボルトはクランプの後にテープ止めしてあります。



STEP1・3・5の場合



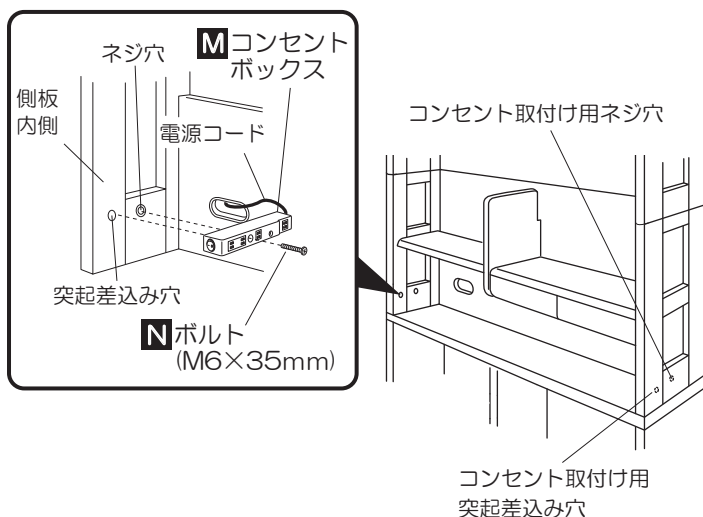
STEP2・STEP4の場合



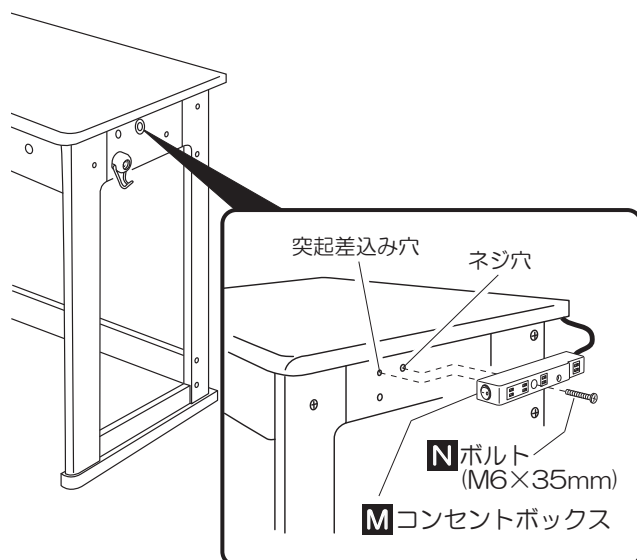
7 コンセントの取付け方法

△コンセントボックスを取付けない箇所の突起差込み穴にはE穴埋めキャップを、
 ネジ穴にはFナット用キャップをはめ込んでください。

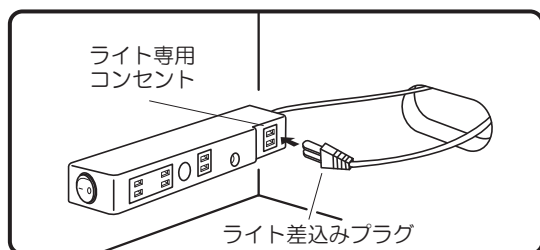
■中棚へのコンセントの取り付け



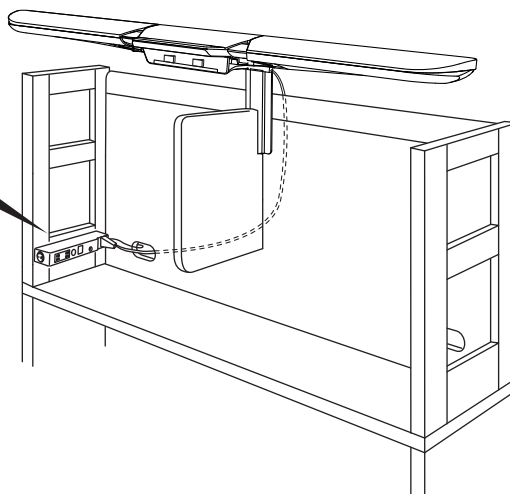
■デスクへのコンセントの取り付け



8 ライトとコンセントの結線



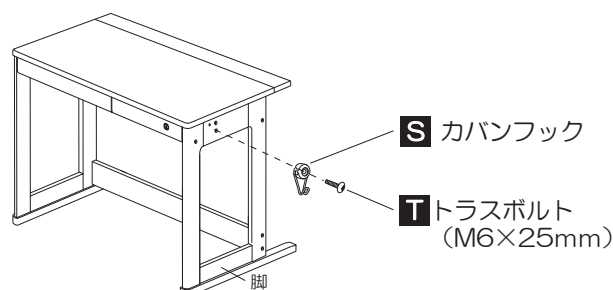
⚠ コンセントボックスの一番奥のコンセントにライトの差込みプラグを差し込んでください。ライト専用コンセント以外のコンセントに、ライトの差込みプラグを差し込んだ場合コンセントボックスのスイッチでのライトの点灯・消灯はできません。



9 カバンフックの取付け方

①脚の左右いずれかに、カバンフックをトラスボルト (M6×25mm) 1本を用いて取り付けてください。

②カバンフックをを取付けない箇所の突起差込み穴には **E** 穴埋めキャップを、ネジ穴には **F** ナット用キャップをはめ込んでください。



10 ワゴンの組立て方法

※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

■キャスターの取り付け

①地板の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側には、ストッパー付きキャスター (2個) を取り付けてください。

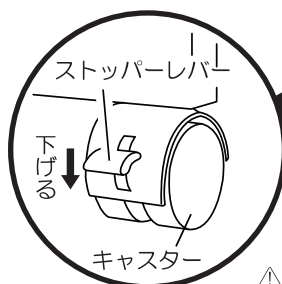
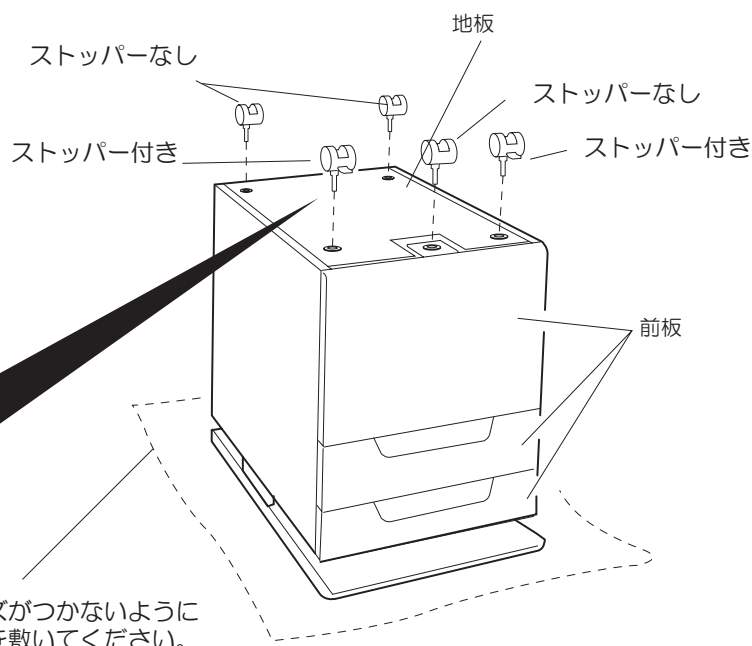
②下段引出しの下キャスター取付け穴に、キャスター (ストッパーなし) 1個をしっかりと差し込んでください。

●ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。

●移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

ワゴン付属部品		
キャスター (5個入り)	ペントレー	仕切板 (下引出し用)
SZC9WC94G		
×1セット	×1	×2

⚠ キャスター1セットは、ストッパー付きが2個ストッパーなしが3個となります。



⚠ 床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。

分解と組替方法

- 引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- スタイルを組替える場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立てしてください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、組み替えの際には一度ご確認ください。<http://kagu.koizumi.co.jp/>

コイズミ学習机保証書

＜無料修理規定＞

- 組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理**をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼**ください。
 - ②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にできない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ②お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷
 - ④消耗品の消耗、又はそれによる故障
 - ⑤本書のご提示がない場合
 - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

*ご販売店様へ

必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	WDS- (引出し内の白いうラベルで品番をご確認ください。)	(お願い) お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号 () -		
お買い上げ日			販売店名・住所・電話番号
年 月 日			
保証期間 (お買い上げ日より)			
3ヶ年			

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◇お客様相談室 〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号 TEL06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社 〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。